

広報 トピックス



〈炭鉱(ヤマ)のお茶会:郷土館〉

12月18日、郷土館でかつての炭鉱長屋の暮らしを知ってもらうため、ヤマのお茶会が開かれました。参加者の皆さんは、持ち寄った漬物やお菓子などを食べながら、通信員による当時の炭鉱生活の思い出話に耳を傾けていました。



〈歳末たすけあいボランティアの集い〉

12月10日、公民館で歳末たすけあいボランティアの集いが開催されました。会場に集まった大勢の皆さんは、飲食やバンド演奏に合わせてのダンス、抽選会などで楽しいひとときを過ごしていました。



〈親子ふれあい料理教室〉

12月18日、公民館で親子ふれあい料理教室が開催されました。クリスマスにちなみ、もをつぶしてツリーの形にしたポテトツリーやロウソクの形のケーキなどを楽しく作り、お昼においしく食べました。



〈歌小むかし遊び教室〉

12月8日、歌志内小学校1年生の児童が、特別授業で地域の方から教わったコマ回しやけん玉など、むかし遊びの発表を行い、練習の成果を参観した父母に披露しました。



〈北海道消防表彰式:功労章受章〉

11月19日、札幌市で北海道消防表彰式が行われ、永年の功績が認められた歌志内市婦人防火クラブ会長持丸英子さんが功労章を受章しました。同日、市長への受章報告を行った持丸会長は、「たいへん名誉なこと、今後もクラブのお役に立ちたいです」と受章の喜びを話しました。

市民の ひろば

俳句

歌志内俳句会選 会員作品

石塚 トキ
諍いさかひも時が消しゆく忘れ花
須藤 涼子
木枯に葉飲んだか急かさるる
佐藤 清子
冬隣り朝日の中を介護バス
高瀬 仁孝
帰り花稼かせぎに混じる冥土めいど銭
吉岡 ゆか
ひとり居の卓の広さよおでん鍋
後藤 妙子
一瞬や雪降り山の雪化粧
岡部 康一
マブラーに酒場の艶歌えんか捕はるる



絵手紙

大沼 きみ
団だんらん薬のひと味ほしきおでん鍋
一般作品
勝部 貞子
小春日や湯の香ものせて送迎バス

「迎春」講師 花田 一美恵



「卯年」
小松 京子

ありがとうございます
ごじいます

▽1件 ■ふるさと納税
現金2万円

市民の動き

人口 4,485人 (-10人)
 男 2,027人 (-4人)
 女 2,458人 (-6人)
 世帯 2,384世帯 (-4世帯)
 (平成22年11月末日現在)

おたんじょう おめでとう

半澤 優真くん (半澤 英也さん) 歌神
 沢田 仁くん (沢田 英司さん) 歌神

おくやみ もうしあげます

金子 直美さん (66歳・11月3日逝去) 中村
 平間 一枝さん (70歳・11月6日逝去) 本町
 山本 謙一さん (43歳・11月12日逝去) 本町
 勘田 シノブさん (96歳・11月14日逝去) 神威
 佐々木 富子さん (78歳・11月18日逝去) 文珠



(札幌弦楽アンサンブル演奏会)

12月3日、公民館で札幌交響楽団による弦楽アンサンブル演奏会が行われました。この事業は、「子供たちの音楽体験事業」として道内小中学校などを訪問しているもので、鑑賞した中学生は、きれいな音色に聞き入っていました。



(商工会議所永年勤続者表彰式)

11月26日、公民館で商工会議所会員事業所従業員の永年勤続者表彰式が行われました。式では、永年事業所に貢献してきた16人の従業員の皆さんに対して、染谷純一会頭から賞状と記念品が手渡されました。



(婦連協防犯研修会)

12月7日、公民館で歌志内市婦人会連絡協議会主催による防犯研修会が行われました。参加した皆さんは、赤歌警察署の岩崎生活安全係長による、振り込め詐欺などを防ぐための心得に熱心に耳を傾けました。



(女性消防団員歳末防火査察)

12月4日と同11日、女性消防団員の皆さんが、ひとり暮らしの高齢者宅や市内事業所を訪問し、「火災をおこさないように気をつけてください」と火災予防を呼びかけました。

図書館だより

☎42~6900

行事

移動どうわ会

とき 1月13日(木) 14時30分

ところ 東光児童館

内容 本の読み聞かせ、紙しばい

移動としよかん

とき 1月19日(水)

ところ

文珠第二町内会館(14時30分~15時00分)

とき 1月20日(木)

ところ

楽生園(14時30分~15時20分)

給食センター(15時45分~16時)

市民体育館(16時15分~16時45分)

読んでみませんか?

『白と黒が出会うとき』 (新堂冬樹著)

人を救う医療現場を支える病院経営。そこへ、のっとり屋と

呼ばれる病魔が忍び寄る……サ

『無頼無頼ッ!』 (浅田次郎著)

『トロイメライ』 (池上永一著)

『鳥海山殺人溪谷』 (梓林太郎著)

スペインス小説。

『絶滅寸前季語辞典』 (夏井いつき著)

俳句の季語は、四季を感じて生きてきた日本人文化の現れです。金魚玉や練炭のように見られなくなりつつあるものや、季節感が合わなくなつて使われなくなつてきた季語に注目してみました。

『わたしの世界一ひどいパパ』 (クリス・ドネール著) ほか二編

パパはあまりにもひどいので、牢屋にいれられています。わたしが牢屋にかざる絵をもつていつてあげると、パパはわたしを人質にして、牢屋から逃げ出しました……。りっぱな大人は1人もでてこないけれど、大事なことがつたわつてくる不思議な作品集。

◆その他の新刊◆

『やなせたかしのおとなのメルヘン』 (やなせたかし著)

『窓の外は向日葵の畑』 (樋口有介著)

『無頼無頼ッ!』 (浅田次郎著)

『トロイメライ』 (池上永一著)

『鳥海山殺人溪谷』 (梓林太郎著)